



社協だより

2011.7.1 No.91

7月～9月
といえは…

コンセプトは、
「初心者でも
気軽にできる
ボランティア!!!」
です

ボランティア体験月間

「ボランティア、やってみたい!」、
「ボランティアってどんなことするのかなあ?」という
初めてのあなた。あなたのちょっとした思いやりから、
新しい発見・出会いがきっと見つかりますよ!!

親子でボランティア体験

昨年は、高岡で“川をきれいにするためのボランティア
体験～EM菌団子作り”を開催しました。参加者は、日頃の
些細な心掛けが大切だと感じる体験でした。

わんぱく福祉体験募集中(対象:小学生)



初めてのあなたに!! あなた自身を生かしたボランティアはいかがですか?

読み聞かせ

子どもが
好きなあなた



絵本の読み聞かせに初めて参
加した方は「時間配分や読む速度
が分からず緊張したが、楽しい時
間を過ごせた。」と話しています。



ふれあい

趣味や特技を
生かしたいあなた



子どもたちが老人施設を訪問
して演奏や歌を披露!



青年ワーク キャンプ

夏休みに新しい
発見をしたいあなた

1泊2日で障がい児と一緒に海
水浴や介助等をお泊まり体験。お
楽しみも満載!



ボランティア体験の申込はコチラから
宮崎市社協ボランティアセンター

みやざき: 52-7170 さどわら: 36-2026
たの: 86-2017 たかおか: 82-4721
きよたけ: 55-6207

お知らせ

出前防災講座を行っています!
詳細は窓口までお気軽に!!

特集!

東日本大震災レポート
防災・災害支援の在り方
について(座談会)

P5～6に掲載!!

平成23年度共同募金の配分



平成22年度の共同募金実績に基づき、次のとおり配分内容が決定されましたのでご報告いたします。

平成22年度 共同募金の 実績	募 金 目 標 額	54,460,000円	配分総額(下記①+②)	32,154,480円
	募 金 実 績 額	32,154,480円	①県共同募金会への配分	17,773,000円
	達 成 率	59.0%	②宮崎市支会への配分	14,381,480円

※宮崎市支会への配分(14,381,480円)の内訳は下記のとおりです。

I 地域団体配分 合計 3,921,000円

【本所】 配分額 2,651,000円

宮崎市保育会 185,000/日本ボーイスカウト宮崎連盟中央地区協議会 50,000/ガールスカウト宮崎地区協議会 50,000/宮崎市青少年育成連合会 477,000/宮崎中央地区里親会 33,000/みらい子育てネット宮崎市地域活動クラブ連絡協議会 57,000/宮崎市母子寡婦福祉協議会 466,000/宮崎市手をつなぐ育成会 221,000/宮崎市精神障害者地域家族会はまゆう家族の会 41,000/宮崎地域精神保健福祉協議会 39,000/宮崎身体障害者福祉協会 271,000/宮崎市視覚障害者福祉会 230,000/宮崎市聴覚障害者協会 148,000/宮崎市肢体不自由児・者父母の会 139,000/宮崎心理リハビリテーションの会 58,000/宮崎地区保護司会 43,000/明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会 43,000/宮崎市民生委員児童委員協議会 100,000

【佐土原支所】 配分額 370,000円

佐土原地区母子寡婦福祉協議会 15,000/佐土原地区老人クラブ連合会 15,000/那珂地区老人クラブ連合会 10,000/広瀬地区老人クラブ連合会 30,000/宮崎市手をつなぐ育成会佐土原ブロック 15,000/佐土原町身体障害者福祉協会 30,000/佐土原町視覚障害者福祉会 15,000/佐土原手話サークル 40,000/さどわら健康ふくしまつり実行委員会 200,000

【田野支所】 配分額 140,000円

子育てサークルわいわいKIDS CLUB 10,000/田野地区老人クラブ連合会 15,000/田野地区母子寡婦福祉協議会 10,000/まごころ作業所 10,000/田野町身体障害者福祉会 15,000/田野町遺族会 10,000/田野町自治公民館連絡協議会 10,000/給食ボランティア4団体 20,000/はほえみ民話サークル 10,000/民謡ボランティア 5,000/はほえみコールボランティア 5,000/リサイクルボランティア和楽知 5,000/双葉会 5,000/お化粧ボランティア 10,000

【高岡支所】 配分額 420,000円

ボランティア連絡協議会 60,000/さんさんクラブ高岡地区老人クラブ連合会 81,000/太陽の郷 50,000/おもちゃ病院たかおか 27,000/音声訳ボランティア「あざみの会」 45,000/たかおか見守り隊 54,000/たかおかチャレンジ倶楽部 20,000/高岡演芸クラブ 27,000/高岡レクリエーション協会 29,000/クリーン元気隊 27,000

【清武支所】 配分額 340,000円

清武手話サークル「てとてとて」 46,500/音声訳の会「たんぽぽ」 93,000/清武点訳サークル「デイジー」 93,000/ガールスカウト宮崎県第15団 33,100/清武町婦人連絡協議会 37,200/清武町遺族協働会 37,200

II 社協事業配分 合計 10,460,480円

【本所】 配分額 5,678,295円

地区社協活動助成事業 2,500,000/地域福祉活動支援整備事業 1,000,000/健康ふくしまつり事業 600,000/社協だより事業 350,000/障害者スポーツ支援事業 160,000/ボランティア活動支援助成事業 1,000,000/社会福祉大会開催事業 68,295

【佐土原支所】 配分額 1,273,630円

地区・まちづくり助成配分事業 500,000/各学校配分 80,000/サロン活動推進事業 30,000/ふくし啓発標語 25,000/小地域懇談会 50,000/地域福祉活動事業 200,630/広報事業 280,000/ニュースポーツ推進事業 78,000/防災ネットワーク事業 30,000

【田野支所】 配分額 250,565円

高齢者給食サービス事業 250,565

【高岡支所】 配分額 1,322,820円

福祉バザー開催 29,820/福祉教育助成事業 90,000/見守り活動推進事業 423,000/自治公民館活動支援事業 600,000/福祉懇談会 20,000/いきいきサロン支援事業 160,000

【清武支所】 配分額 1,935,170円

ひとり暮らし安否確認事業 1,250,600/清武町健康福祉まつり 610,170/地域活動支援事業 74,400

寄付者名簿

香典返し及び一般寄付

愛のご寄付ありがとうございました。(敬称略・順不同)

3月

【本所】

和田真知子(故・和田善弘)
 黒川浩至(故・黒川圭子)
 田村恵美子(故・田村俊雄)
 黒木フヂ子(故・黒木敬也)
 石井久美(故・石井多美子)
 松本愛美(故・松本敬爾)
 大平雅透(故・大平和男)
 北浦洋二(故・北浦重雄)
 後藤章(故・後藤政子)
 金丸信夫(故・金丸ハナ子)
 黒木敦子(故・黒木茂宏)
 仁田脇康二(故・仁田脇ツルノ)
 野崎登女 28,045円
 佐々木政輔音楽教室 100,000円
 (株)ガイア 電解次亜水生装置ほか
 第一ペンディング 3,292円
 宮崎市グラウンドゴルフ協会 24,540円
 Doまんなかモール委員会 105,433円

【佐土原支所】

中村親雄(故・中村節子)
 永田和男(故・永田喜代子)

黒木修(故・黒木清)
 川口順一(故・川口スサオ)
 北山満夫(故・北山スズエ)

【田野支所】

大山剛(故・大山ミツ)
 野崎君子(故・野崎樺士)
 金増繁広(故・金増ヒサヲ)
 谷口誼(故・谷口チエ)
 石井サダ子(故・石井金秋)
 多田貞雄(故・多田千代子)

【高岡支所】

下宮園幸男(故・下宮園邦只)
 三石幸子(故・三石英盛)

【清武支所】

富永俊朗(故・富永チサヲ)
 倍憲一(故・倍史子)
 黒木壽美子(故・黒木義純)
 戸高いつ子(故・戸高重利)

4月

【本所】

二本正美(故・二本チヅ)
 佐伯安弘(故・佐伯一美)
 畠山桂子(故・安倍ユキエ)
 平川妙子(故・平川タマエ)
 緒方敏雄(故・緒方美代子)
 倉永昭(故・倉永マサ子)
 甲斐セツ子(故・甲斐芳)
 鬼束数子(故・鬼束義則)
 是石いさ子(故・是石哲史)
 森川嘉宏(故・森川千里)
 (株)湖月 お菓子
 小田弘 30,000円

【佐土原支所】

岩切聡男(故・岩切ナツ子)
 則松肇(故・則松スナコ)
 宮原悦子(故・宮原直幸)
 緒方良親(故・緒方政良)
 青木智(故・青木カズ子)
 前森美恵子(故・池田信子)
 岩切吉勝(故・岩切清)
 清武志(故・清セツ)

【田野支所】

上木兼松(故・上木マツ子)
 伊知地肇(故・伊知地ナツエ)
 重永高子(故・重永保)

【高岡支所】

水間幸子(故・水間稔箕)
 福富富士男(故・福富ヒロノ)
 中村勇二郎(故・中村トシ)
 吉加江有(故・吉加江ハツミ)



故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

宮崎市社会福祉協議会 平成23年度当初予算

会計単位及び経理区分	当初予算額	前年度予算額	増減
《総合計》	1,598,477	1,573,462	25,015
【一般会計】	813,131	807,909	5,222
1 法人運営	314,689	342,292	△27,603
2 退職積立	30,892	29,561	1,331
3 共同募金事業	12,630	18,747	△6,117
4 企画広報事業	7,149	7,410	△261
5 地域福祉事業	55,467	55,435	32
6 在宅福祉事業	9,855	9,903	△48
7 資金貸付事業	4,659	4,573	86
8 児童福祉事業	272,924	236,922	36,002
9 生活支援事業	12,965	13,010	△45
10 自立支援事業	91,901	90,056	1,845

会計単位及び経理区分	当初予算額	前年度予算額	増減
【公益事業会計】	784,856	765,063	19,793
11 福祉対策事業	10,338	11,208	△870
12 地域福祉事業	27,155	30,794	△3,639
13 在宅福祉事業	45,683	54,523	△8,840
14 資金貸付事業	550	760	△210
15 高齢者等保健福祉推進事業	0	320	△320
16 施設管理運営事業	191,813	190,647	1,166
17 生活支援事業	124,992	134,923	△9,931
18 介護保険事業	384,325	341,888	42,437
【収益事業会計】	490	490	0
19 会議室等貸出等事業	490	490	0

※前年度予算額は、平成22年度当初予算額

宮崎市社会福祉協議会の平成23年度当初予算は、上記表のとおりです。

児童クラブ運営事業(市受託事業:受入れ人数増等による受託金増)や介護認定調査事務所運営事業(市受託事業:調査件数増等による受託金増)などにより、全体としては、前年度に比べ、2千5百1万5千円の増額となっております。

経費節減に努めるとともに、当協議会の基本方針である、「ともに支えあい、安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて、今後とも地域福祉活動の推進や各種福祉サービスの提供に取り組んでまいりますので、市民の皆様方の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

社協ってこんなことやってるんだあ～



2/26



レクリエーション
ボランティア
養成講座

3月
10-17/24

いきいきパワーアップ
事業

5/2～



3月
26・27

天ヶ城開門まつりで
高齢者疑似体験等を実施

3/4

ふれあいいきいき
サロン交流会(佐土原)



家族介護者のつとめ(高岡)



3/3

グラウンドゴルフ
大会(佐土原)



3/16

3/30

ウォーキング
講座(佐土原)



3/2

シニアボランティア講座
読み聞かせ(高岡)



3/11

家族介護者交流事業(清武)



ふれあい
リハビリ教室事業

5/6～

東日本大震災 現地支援レポート

宮崎市から東日本大震災によって被災された方の支援のために福島県・宮城県に行かれたNPO法人や企業から、被災地の状況と支援活動の内容について報告していただきます。

被災地に行って

災害時救援ボランティアコーディネーターみやざき
(SVCみやざき) 副会長 佐藤 純子

4月25日から1週間、福島県南相馬市にある災害ボランティアセンターに行って参りました。ここは市内の3分の1が立ち入り禁止区域、3分の1が緊急時避難区域となっています。何も無い干潟のようになった所(元は家や畑があった所)に船があり、波消しのテトラポットが小石のように点在していました。ここに住んでいた人たちは?と考えると胸が塞がれる思いです。市内の学校に子供たちはいません。市外にバスで通っています。見たこと、感じた



ことを表す言葉が見つかりません。1日も早く行方不明の方たちが見つかり、被災者の方たちに笑顔が戻りますように!!

ボランティア活動に参加して

株式会社NPK 金丸 忠義

平成23年4月7日から13日の1週間、警備会社NPKの社員8名で、宮城県岩沼市にボランティア隊として参加しました。作業は、現地のボランティアセンターが割り振り、午前と午後に1軒ずつ回りました。津波によって流れ込んだ土砂の撤去が主な作業でした。活動2日目から体中の筋肉痛が始まり、普段の怠惰を思い知らされました。しかし作業が終わると、「ありがとうございます。」というお礼の言葉を聞くたび、「また明日も頑張るぞ。」という元気がわいてきました。やはり人のために尽くすということは、気持ちいいものだ実感した次第です。



宮崎市社会福祉協議会では、全国の社会福祉協議会と連携を図り被災地支援のために福島県へ職員の派遣を行っております。その支援内容について報告いたします。



総務課 総務係
末継 慎一

4月26日から5月3日まで、派遣された福島県いわき市災害ボランティアセンターのニーズ(報告)班を担当しました。津波による被災地は、魚の腐敗臭や焼け焦げた臭いが充満し、惨状に絶句しましたが、この体験を生かして、依頼者に活動内容や必要人数等を確認する中で、現地の社協職員や運営ボランティア、支援団体の協力を得て、円滑な派遣と活動をサポートし、ボランティアからの活動報告も受けました。依頼者とボランティア両方の声と運営スタッフの貴重な経験を生かして、宮崎市の地域福祉推進に貢献していきます!



福祉課 地域福祉係
片伯部 浩昭

4月23日から29日まで、東日本大震災により被災された方への生活費等貸付事務(緊急小口特例貸付)支援として郡山市へ派遣されました。

実際の受付業務では、各県からも多くの職員が派遣され対応しましたが、常に待合席には人があふれている状

況で、1日平均330件ほどの申請があり、多い日では600件超で、食事もとれない状況でした。相談者の多くは、会社が被災し自宅待機などの理由により収入が減った方が多く、当面の生活費にも困っておられる方ばかりでした。被災者の現状に触れ、一日も早く元の生活に戻ることを祈念し報告とします。

総務課 総務係
原田 学



私は二本松市へ派遣されました。現地での活動の中で、『社協がすべきこと』『出来ること』を改めて考えさせられました。災害時には地元社協だけで出来る時と出来ない時があり、今回の震災では地元社協だけでは出来ないケースがほとんどでした。宮崎で大規模災害が発生した場合には、全国組織である社協の強みを生かし、全国の社協から支援が受けられるような体制作り、また支援がスムーズに地域へ届けられるよう、住民組織との災害時支援体制作りや地域の関係機関・団体及び自治会長との繋がりを密に築いておく必要があると切に感じました。

機会があれば、また支援活動をさせていただきます。

座談会

防災・災害支援のあり方 ～東日本大震災を通して～

出席者：大塚地区自治会連合会会長
NPO法人文化本舗代表理事
宮崎県手をつなぐ育成会会長

司会者：宮崎市社協ボランティアセンター

川越 定 氏
石田 達 也 氏
森 富貴子 氏
三浦 彩



川越 定 氏

◎三浦：東日本大震災では、自然災害の脅威を思い知らされましたが、皆さんはどのように感じましたか？

川越：地震・津波だけでなく、原発による災害が重なったことで、今までにない文明の崩壊を感じる災害だと感じました。

石田：そうですね。平成17年の台風や昨年の口蹄疫そして新燃岳で受けた被災は、幸いにも亡くなった方がおらず、今回はコミュニティ自体が崩壊したことから、広範囲であり未曾有の被災だと思います。

森：障がいという特性のために避難所に馴染めない人も多く、避難生活の長期化や食事やトイレなどを考えると福祉避難所の設置も考えるべきだと思いますねえ。

川越：大塚地区では、災害時避難行動支援計画の作成を行った際に、個人情報保護法の観点から、要援護者の了解を得なければならず、地域住民と接していない人は近所の人の名前も知らないなど課題もあり要援護者と支援者の信頼関係も必要だと思いました。

石田：避難行動支援計画と同様に人材の育成も重要だと思います。現場で判断して指示できるリーダーがどれだけ地域にいるだろうか考えると、リーダーの養成や外部からのリーダーを受け入れる体制を短期間にできるかにかかってくると思います。



石田 達也 氏

川越：東日本大震災では、防災訓練を実施していたことで被害が少なかった地域もあると聞いています。石田さんの言われるとおり、第2段階として、そこまで見越した計画を立てておかないといけないですね。

森：個人情報保護の問題もあるが「命」の問題は待ったなしですし、避難行動支援計画で決めておいていただくとありがたい。一人でも多くの人に、障がいのある人達のことを知ってもらえれば、緊急時に誰かが声掛けてもらえると思うのです。

石田：昔は、職住接近で住民同士が顔見知りだった。しかし今は、仕事のため家に帰ってくるのは夜で休みもない人も結構いるので、「地域をもっと知れ」と言っても現実的には非常に難しいが、地道に取り組んでいく必要性は高いと思う。

川越：地域でイベントがある時に、少しでも顔を出してくれるとありがたいですけどね。

◎三浦：東北支援のために30万人超のボランティアが現地で活動していますが、支援する側について、ご意見がありましたらお聞かせください。

石田：東日本大震災の現地で見て回ったが、引き継ぎがうまくできていないと感じました。支援者の連携や協力体制が整わないと効率的な支援にならないのは当然ですけど。

森：支援にも一貫性がないとそれを受ける人も混乱しますよね。

◎三浦：今後、宮崎市で取り組んでいくべきことはありますか？

川越：避難と言う点において、どういう道順で避難するかを考えていく必要がある。

また、地震などを想定した防災マップの見直しも行っていきたい。

石田：中学生とか障がい者の方にマップ作りに参加をしてもらったりすると実用性に優れ、子どもたちへの啓発や勉強にもなるし、地域社会の一員としての役割や参加意識も芽生えるのではないのでしょうか。

森：計画作りの段階からぜひ障害のある人や高齢者を参加させていただきたい。支援してもらっただけではなくて、当事者も積極的に自分の命を守る努力をしていかなくてはいけないと思います。

◎三浦：今日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。座談会を受けて様々な課題がみえてきました。防災や災害支援のあり方について、今後も協議を重ねてまいりますのでぜひご協力をお願いします。

*この座談会ではご意見や提案をいただきましたが紙面の都合上、一部省略しています。(詳しくは、HPIに掲載。)



三浦 彩

～東日本大震災から学ぶ～ 災害時に備えた地域の活動

地区社協やまちづくり推進委員会では日頃から災害を想定してさまざまな防災活動を行っています。今回は、防災活動に取り組んでいる地域のうち、生目台、佐土原、清武の話題をお届けします。

地域いきいき新聞

佐土原

本番さながらの 避難訓練で備える！

広瀬北小学校校区地域づくり協議会では、地域の防災支援体制づくりを推進するため、昨年10月23日に14地区一斉に避難誘導訓練を行いました。

訓練内容は、事務局に災害本部を設け、午前8時に各地区へ災害発生を連絡し、安否確認後、14地区それぞれの避難場所へ避難を行うもので、歩行が困難な方にはリカーなどを使って避難所まで誘導するなどの方法も考慮し、約250名に参加いただいた本番さながらの訓練を行いました。

広瀬北小学校の14地区は、すべてに自主防災組織が立ちあがっており、保管さ

生目台

地域全体で実りある 防災対策づくり！

生目台地区では、毎年、防災対策委員会を中心に自治会やまちづくり推進委員会、地区社協等が協力して要援護者を含む地域住民を対象とした防災訓練を実施しています。平成22年12月5日の防災訓練では、初めに生目台中学校で中学生と住民が避難所開設訓練を行い、次に生目台地区交流センターで車椅子を使用した要援護者の避難誘導訓練や、炊出し訓練(毎年メニューを変えます！)、スタンブラリー形式で行う救助訓練や防災伝言ダイヤル訓練等を実施しました。台風14号で被災した時に揃いの体操服を目印に、給水活動で活躍してくれた中学生の若い力と行動力に住民の期待が寄せられます。

生目台では、被災した場合に備え、食

料、飲料水、日用品等の入手が困難になる事を想定して、地域のスーパーや飲料水会社と災害協定を結び、被災した時は無料(後払い)商品に住民に配分するなど、5日間は地域内で対応ができるようにしています。また、避難所も、要援護者は障がい者トイレのある交流センターに、乳幼児のいる家庭は保育設備のある保育園に、その他一般の方は各学校体育館に避難するように分けるなど、地域の資源を有効活用した「備え」を行っています。

大規模災害が発生した場合、住民同士の協力が必要不可欠です。今後も、地域の助け合いの輪を広げ、「生目台は自分たちで守る！」という熱い想いと絆によって、地域ぐるみで積極的に防災活動に取り組みでいきたいとのことでした。



防災機器取扱い説明の様子



防災伝言ダイヤル訓練中

清武

関係機関との連携で 防災体制の充実を図る！

南加納区では、大規模な災害に備え、「地域の安心・安全を自分達で守る」という意識を基に、住民の防災意識の高揚や普及・啓発を図るため自主防災訓練が実施されました。当日は防災講座や防災基礎訓練、更には清武町赤十字奉仕団による炊出し訓練も行われました。

地区では、今後もこうした地域住民や関係機関が一体となった訓練を行い、相互の連携による防災体制の充実・強化を図り、防災意識を高めていきたいと考えています。



社協ボランティアコーディネーターによる防災講座

地域この人

消防団として地域を守る！



宮崎市消防団 団長
オナカ ノリタダ
尾中 代傳さん
(68歳)

宮崎市消防団団長として日頃から地域の安全を守っておられる尾中さん。

今般、東日本大震災を踏まえ、地域でどのような備えが必要であるか尋ねたところ「地域の防災マップ作りや、大規模な地震などが起きたらすぐに逃げるという『自主避難』の認識、また常日頃から災害に備えた地域づくりをしてほしい。」とのことでした。

現在、宮崎市の消防団員数は約2600名。「消防団は常時、非常時、市民の皆さまの安心・安全を守っています。」と力強いお言葉をいただきました。

主な社協事業・行事予定表(7月～9月)

7月	8月	9月
14日 (木) サロンボランティアスキルアップ講座 会場／田野総合福祉館 時間／13:30～	11日 (木) 防災ボランティア体験講座(普通救命講習) 会場／佐土原地域福祉センター 時間／未定	14日 (水) ふれあいハートサービス初任者研修 会場／宮崎市総合福祉保健センター視聴覚室 時間／9:00～16:00 15日 (木)
16日 (土) 夏休み親子ボランティア講座 会場／佐土原地域福祉センター 時間／10:00～13:30	上旬 中学生福祉体験 in 清武 会場／未定 時間／未定	21日 (水) 防災ボランティア連絡協議会 会場／佐土原地域福祉センター 時間／未定
23日 (土) 夏休み親子ボランティア講座 会場／佐土原地域福祉センター 時間／10:00～12:00	上旬 青年ワークキャンプ 会場／未定 時間／未定	中旬 家族介護者のつどい 会場／老人福祉館「百寿荘」 時間／10:00～12:00
27日 (水) わんぱく福祉体験 in 高岡 会場／高岡福祉保健センター 時間／未定	上旬 「めざせ、孤立死ゼロのまち」関係者座談会 会場／視聴覚室 時間／未定	中旬 防災講座 会場／田野総合福祉館 時間／未定
上旬 在任福祉協力員研修会 会場／佐土原地域福祉センター 時間／未定	中旬 ボランティアセンター運営委員会 会場／未定 時間／未定	中旬 ふれあいサロンボランティア研修会 会場／宮崎市総合福祉保健センター視聴覚室 時間／未定
中旬 移送サービス運転ボランティア研修 会場／宮崎市総合福祉保健センター視聴覚室 時間／9:00～12:00	下旬 社協デイサービスセンター高岡納涼祭り 会場／社協デイサービスセンター 時間／未定	下旬 ボランティア団体・施設情報交換会 会場／未定 時間／未定
下旬 青年ワークキャンプ事前研修 会場／未定 時間／未定	下旬 わんぱく福祉体験 in 田野 会場／田野総合福祉館 時間／10:00～12:00	
	下旬 わんぱく福祉体験 in 宮崎 会場／未定 時間／未定	

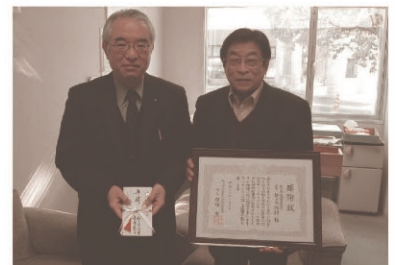


企業等の社会貢献活動

- H23.3.6** 佐々木政輔音楽教室(主宰佐々木政輔)様から、多額のご寄付をいただきました。
- H23.3.10** 大手パチンコチェーン(株)ガイヤ(本社:東京都)様から、液晶テレビや超音波加湿器等(総額100万円相当)のご寄贈がありました。
- H23.3.30** Doまんなかモール委員会((株)宮崎山形屋様、(株)橘百貨店様と合同)から、多額のご寄付をいただきました。



写真左が、(株)ガイヤの毛利次長様



写真右が、主宰の佐々木政輔様

福祉総合相談 無料

★福祉なんでも相談:月曜～金曜9:00～16:00 ★法律相談:下記の日程

法律相談会場	8月	9月	10月
宮崎市総合福祉保健センター	18日(木)	15日(木)	20日(木)
佐土原地域福祉センター	25日(木)	22日(木)	27日(木)
田野総合福祉館	11日(木)	8日(木)	13日(木)
高岡福祉保健センター穆園館	11日(木)	8日(木)	13日(木)
清武総合福祉センター		1日(木)	

※必ず事前の相談が必要です。本所各支所にご連絡ください。

お詫びと訂正

- ①第90号社協だより6Pに掲載いたしました平成22年度宮崎市社協会員名簿のところで、賛助会員・矢方幸様を掲載いたしました。が、団体会員・宮崎市青少年育成連合会の誤りでした。お詫びして訂正いたします。
- ②第90号社協だより最終ページに掲載いたしました第60回宮崎市社会福祉大会被表彰者のところで、鈴木倬夫様の表彰区分を民間社会福祉事業功労者と掲載いたしました。が、自助努力者の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

平成23年7月1日

社会福祉
法人

ともに支えあい 安心して暮らせる福祉のまちづくり

宮崎市社会福祉協議会

〒880-0930 宮崎市花山手東3丁目25番地2
Tel.(0985)52-5131 Fax.(0985)52-5724

思いやり発信
やさしさ受信

- 佐土原支所 〒880-0303 宮崎市佐土原町東上那珂12948番地1
- 田野支所 〒889-1701 宮崎市田野町甲2848番地1
- 高岡支所 〒880-2221 宮崎市高岡町内山2877番地
- 清武支所 〒889-1604 宮崎市清武町船引155番地2

- 佐土原地域福祉センター内 Tel.36-2020 Fax.36-2024
- 田野総合福祉館内 Tel.86-2017 Fax.86-4049
- 高岡福祉保健センター穆園館内 Tel.82-4721 Fax.82-4726
- 清武総合福祉センター内 Tel.55-6207 Fax.64-5321

■ホームページ

宮崎市社協

検索